

会議結果報告書

令和5年3月10日

会議の名称	令和4年度 第3回在宅医療・介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議
開催日時	令和5年3月10日（金）19時30分～21時
開催場所	志木市役所 大会議室3-3
出席委員	岩崎委員、相原委員、宮本委員、正岡委員、瀧委員、松川委員、本多委員、 奥山委員、吉田委員、田中委員、渋谷委員、立花委員、多田委員、石幡委員、 土屋委員、生方委員、辻委員 (計17人)
欠席委員	田代委員、西委員、木野委員、藤島委員、長内委員、宮川委員 (計6人)
議 題	<p><第1部> 議事 (1) 令和4年度認知症初期集中支援チーム事業実施報告 (2) 在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について ① ACP普及啓発ワーキンググループ ② 医療・介護関係者研修ワーキンググループ (3) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について (4) その他 周知事項</p> <p><第2部> ACP普及啓発グループと医療・介護関係者研修グループに分かれ、令和5年度のワーキングの取組について</p>
結 果	審議内容の記録のとおり (傍聴者なし)
事 務 局	朝霞地区医師会地域包括ケア支援室 菅田コーディネーター 長寿応援課いきがい支援グループ 渋谷課長、斉藤主査、増田主任、水谷主事補
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
<p><第1部> 1 開会 2 岩崎会長あいさつ 2年間コロナで休止していた代表者会議でのワーキング活動を今年度から再開し、引き続き志木市の医療と介護連携の促進に向けてご尽力をいただきたい。第2部の各ワーキングでの検討において、積極的な協議をお願いしたい。</p>	

3 議事

(1) 令和4年度認知症初期集中支援チーム事業実施報告

和光病院田邊氏より令和4年度の訪問実績、ケース統計、支援内容、ケース概要などの説明。

- 認知症初期集中支援チーム事業の対象者は、認知症診断を受けていない人で医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している人や医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著であり対応に苦慮している人である。また、認知症の初期の段階から関わる支援であり、どこにもつながっていない場合、初期の段階から関わる事業である。
- 令和4年度の訪問者数は8人であり、3月予定を含めると10人予定である。
- 資料1は2月時点の訪問者7人分についてのまとめであるが、認知症アセスメントツールを5名に実施し、認知症の疑いがあるまたは認知症の可能性のある人は3人だった。家族の介護負担度アセスメントツール（J-ZBI-8）を2人に実施し、1人が抑うつ症状の可能性があった。
- 資料1のまとめより、訪問の結果、内服管理ができていない血圧コントロール不良者が多く、担当医との情報連携を行った。また、認知症専門医への受診や介護サービス、訪問看護の利用につなげ、健康状態の確認と内服管理の支援につなげた。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について

① ACP普及啓発ワーキンググループより報告

立花委員より報告。

- 志木市版ACP（あなたのきぼうにぴったりプラン）リーフレットを作成した。
- 各関係機関などで配布し、普及啓発を行う。

② 医療・介護関係者研修ワーキンググループより報告

本多委員より報告。

- 医療職・介護職お互いの顔が見える関係づくりを行うため、市内の医療職・介護職を対象とした研修（勉強会）を12月21日に実施した。
- 歯科受診の仕方（幸町歯科口腔外科医院の宮本日出先生）、抗原検査キットの違い（いろは薬局の福原和也薬剤師）、コロナ陽性になった時の対応の流れ、コロナワクチンに関して（まちだ訪問クリニックの町田穰先生）の3つのテーマで研修を行い、参加者は35名（事務局3名除く）だった。

(3) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について

事務局より取組予定について説明。

- 引き続き4つの場面を意識した医療介護連携の推進を行う。
- 令和4年度に引き続き、ワーキンググループによる具体的な取組を継続・促進する。

(4) その他

各団体からの周知事項

- 立花委員より「訪問看護ステーション志木みずほ」についての周知。
- TMG 宗岡病院より「ふれあい多居夢志木宗岡」の施設について周知。
- 志木市役所長寿応援課より、令和5年3月23日開催予定の相原委員による市民向けACP普及啓発セミナーの案内。

<第2部>

- ① ACP普及啓発ワーキンググループ、②医療・介護関係者研修ワーキンググループに分かれて令和5年度の取組について協議した。

<次回日程>

- 令和5年度第1回会議は令和5年5月末～6月頃を予定。

以 上